

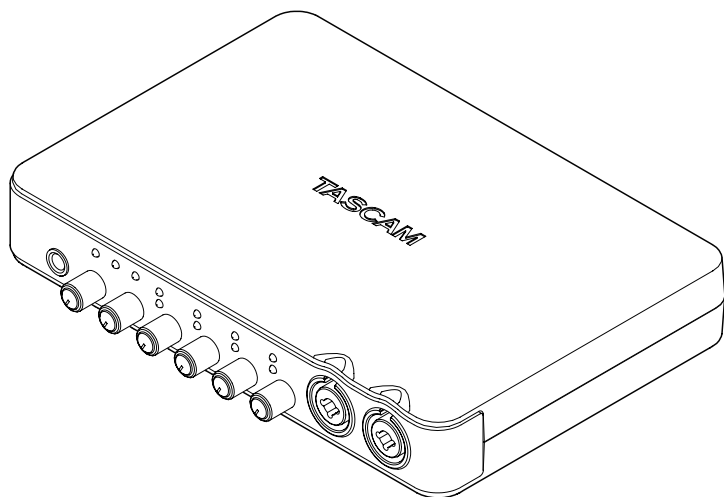
# TASCAM

D01140101A

# US-600

## USB 2.0 Audio/MIDI Interface

取扱説明書





本機をパソコンに接続する前に、専用ドライバーをパソコンにインストールしておく必要があります。




# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 表示の意味

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## 警告





万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体に接続されているACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。



万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体に接続されているACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体に接続されているACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


**警告**

	<p>ACアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p> <p>ACアダプターの電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。</p>
	<p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の上に小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。</p> <p>ACアダプターの電源プラグ、およびコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</p> <p>ACアダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p> <p>船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。</p>

## ⚠️ 注意



移動させる場合は、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は安全のためACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



オーディオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

この機器には、付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）およびACアダプター用電源コードをご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。



ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪影響を与えることがあります。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

ACアダプターの電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

## ⚠ 注意



ACアダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）およびACアダプター用電源コードを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

この装置は、クラスB技術情報装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。 VCCI-B

# 目次

安全にお使いいただくために .....	2	第5章 接続 .....	22
第1章 はじめに .....	7	USBの接続 .....	23
本機の概要 .....	7	オーディオの接続 .....	23
本製品の構成 .....	8	マイク .....	23
本書の表記 .....	8	ギター .....	24
商標に関して .....	8	音源モジュール / MD /	
設置上の注意 .....	9	CDなど (デジタル接続) .....	24
結露について .....	9	キーボード / ドラムマシン /	
製品のお手入れ .....	9	音源モジュール / カセットデッキ /	
アフターサービス .....	9	MD / CDなど (アナログ接続) ..	24
第2章 各部の名称と働き .....	10	アナログレコードプレーヤー .....	24
フロントパネル .....	10	モニタースピーカー .....	24
リアパネル .....	12	ヘッドホン .....	24
第3章 インストール .....	14	MIDI機器の接続 .....	25
必要なシステム .....	14	第6章 アプリケーションガイド .....	26
Windows .....	14	Cubase LE 5 .....	26
Mac OS X .....	14	Windows XP と	
ドライバーのインストール .....	14	Windows Media Player .....	26
Windows用ドライバーのインストール ..	15	Windows Vista または Windows 7と	
Mac OS X用ドライバーのインストール ..	17	Windows Media Player .....	26
ドライバーのアンインストール .....	18	Mac OS X と iTunes .....	27
インストールについて		第7章 MIDI	
よくある質問と回答 (FAQ) .....	18	インプリメンテーションチャート ...	28
パソコンの設定 .....	19	第8章 トラブルシューティング .....	29
Cubase LE 5のインストール .....	19	第9章 仕様 .....	33
第4章 US-200コントロールパネルの設定 ..	20	定格 .....	33
概要 .....	20	アナログオーディオ入出力定格 .....	33
コントロールパネルの設定 .....	20	アナログオーディオ入力定格 .....	33
Audio Performance .....	20	アナログオーディオ出力定格 .....	33
Sample Clock .....	21	デジタルオーディオ入出力定格 .....	33
Digital Output .....	21	デジタルオーディオ入力定格 .....	33
ch1 and ch2、ch3 and ch4		デジタルオーディオ出力定格 .....	33
および ch5 and ch6 .....	21	コントロール入出力定格 .....	33
LINE OUTPUTS		オーディオ性能 .....	34
および DIGITAL OUTPUT .....	21	動作条件 .....	34
		Windows .....	34
		Mac OS X .....	34
		一般 .....	34
		寸法図 .....	35

このたびは、TASCAM USB 2.0 Audio/MIDI Interface US-600をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

本機を使ったシステム内の他のMIDI機器、ハードディスク、MOディスクなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

## 本機の概要

- USB2.0対応のオーディオ／MIDIインターフェース
- 24ビット／96kHzのオーディオインタフェースを搭載。
- 4チャンネルのアナログ入力信号（1-4）を同時に入力することが可能。
- S/P DIFデジタル入出力（同軸）搭載。
- 4つのXLRマイク入力（バランス）を装備し、高性能なマイクプリアンプを搭載
- 4つの標準ジャック入力を装備。（XLRとのコンボジャック）
- 標準ジャック入力は、エレキギターやエレキベースなどの接続（ハイインピーダンス）が可能（1チャンネルのみ）。
- アンバランスステレオライン出力を1系統（RCAジャック）およびヘッドホン出力を装備。
- アンバランスステレオライン出力とヘッドホン出力はボリュームつまみによる音量調整が可能。（個別には行えません）

- MIDI IN / OUT装備。
- ゼロレイテンシー・ダイレクトモニター機能により遅延がない入力モニターが可能。
- 入力1、2および3、4をモノラルでモニターするか、ステレオでモニターするかの切り換えが可能
- 入力、オーバーロード時に点灯するインジケータを各入力チャンネルに装備
- 入力と、パソコンからの出力信号のバランスを調節するMON MIXつまみを装備
- 付属のACアダプター（TASCAM PS-P520）による電源供給。
- 専用Windowsドライバー（Windows XP、Windows Vista、Windows 7）および専用Macintoshドライバー（OS10.5、OS10.6）を装備。
- USB 2.0 High Speed(480MHz)対応(USB1.1では動作しません)
- +48Vファントム電源供給可能（4マイク入力）
- Cubase LE5バンドル

## パソコン操作に関して

本書の説明に出てくるパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

本機を使用するには、付属のCD-ROMを使って、パソコンに専用ドライバーをインストールする必要があります。ドライバーのインストールについては、第3章インストールの「ドライバーのインストール」（14ページ）をご覧ください。

# 第1章 はじめに

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお開梱は、本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

- 本体 x1
- ACアダプター (TASCAM PS-520) x1
- ACアダプター用電源コード x1
- USBケーブル x1
- CD-ROM (ドライバーなどを含む) x1
- DVD-ROM (Cubase LE5) x1
- Cubase LE5 クイックスタートガイド x1
- 保証書 x1
- 取扱説明書 (本書) x1

### 注意

本機には、必ず付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520) とACアダプター用電源コードをご使用ください。また、付属のACアダプターとACアダプター用電源コードを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

## 本書の表記

本書では以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「LEVELつまみ」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレイに表示される文字を《OK》のように《 》で括って表記します。

- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

### ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

### 注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

## 商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、および Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac、Mac OS X、および iTunes は、Apple Inc. の商標です。
- Pentium および Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- AMD Athlon は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- MIDIは、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- Cubase は Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。



## 設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  - 振動の多い場所。
  - 窓際などの直射日光が当たる場所。
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所。
  - 極端に温度が低い場所。
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
  - ほこりの多い場所
- 本製品は、水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。

## 結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

## 製品のお手入れ

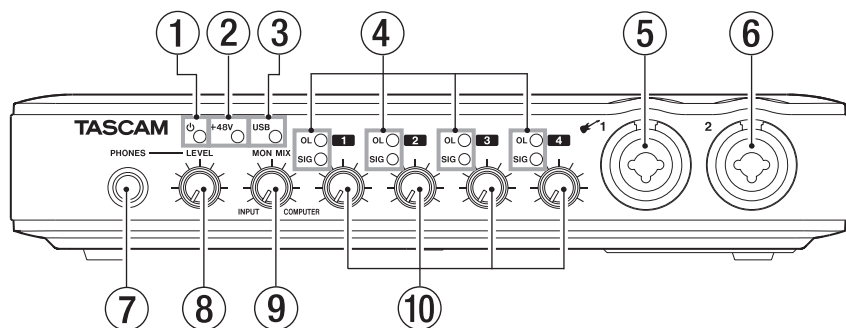
製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷めたり色落ちさせる原因となります。

## アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  - 型名、型番 (US-600)
  - 製造番号 (Serial No.)
  - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## 第2章 各部の名称と働き

### フロントパネル



- ① **⏻ (スタンバイ/オン) インジケーター**  
電源がオンのときに、点灯します。  
スタンバイ/オン・スイッチはありません。  
電源を切るときには、ACアダプターを抜いてください。

- ② **+48Vインジケーター**  
**PHANTOM (+48V)** スイッチが**ON**のときに点灯します。

#### 注意

このインジケーターが点灯しているときには、マイクの抜き挿しをしないでください。

- ③ **USBインジケーター**  
USB接続が有効なときに、点灯します。

- ④ **OL / SIGインジケーター**  
**OL (オーバーロード) インジケーター**  
入力が歪む直前 (-2dBFSを超えた場合) で点灯します。

**SIG (シグナル) インジケーター**  
各チャンネルに信号が入力されている (-30dBFS以上) ときに点灯します。

- ⑤ **MIC/INST IN 1 [BALANCED/UNBALANCED] 端子**  
XLRバランスタイプのアナログマイク入力と、TS標準ジャックの入力端子です。TS標準ジャ

ックは、ギターやベースなどの楽器を接続することができます。

- XLR (1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)
- TS (Tip : HOT, Sleeve : GND)

- ⑥ **MIC/LINE IN 2 [BALANCED] 端子**  
XLRバランスタイプのアナログマイク入力と、TRS標準ジャックのバランスアナログ入力端子です。

- XLR (1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)
- TRS (Tip : HOT, Ring : COLD, Sleeve : GND)

- ⑦ **PHONES端子**  
ステレオヘッドホンを接続するためステレオ標準ジャックです。ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

#### 注意

ヘッドホンを接続する前には、**LEVEL**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

#### メモ

**LEVEL**つまみは、ライン出力レベルの調節つまみと兼用となっています。

### ⑧ LEVELつまみ

LINE OUT 1 / 2端子およびPHONES端子の出力レベルを調整します。

#### 注意

ヘッドホンを接続する前には、LEVELつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

### ⑨ MON MIXつまみ

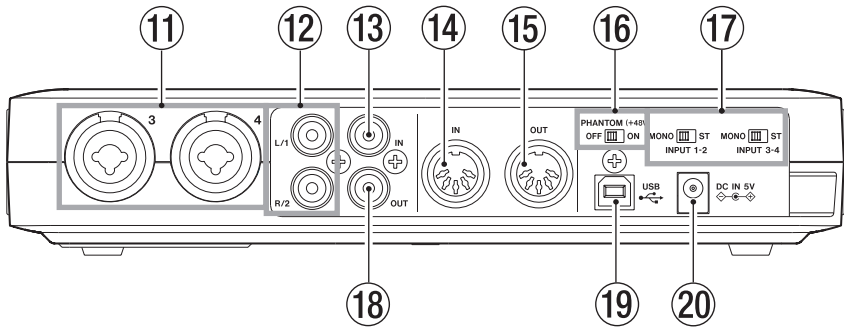
LINE OUT 1 / 2端子およびPHONES端子からは本機の入力信号（MIC IN端子、LINE IN端子からの入力）と、USB経由で入力されたパソコンの出力信号をミックスして出力します。このつまみを使って、これらの信号のバランスを調節します。左いっぱい（INPUT）にすると本機の入力信号のみ、右いっぱい（COMPUTER）にするとUSB経由で入力されたパソコンの出力信号のみを出力します。

### ⑩ ゲインつまみ

MIC/INST IN 1端子、MIC/LINE IN 2端子およびMIC/LINE INPUTS 3 / 4端子の入力レベルを、個別に調節します。

左いっぱいに回すと最小レベル、右いっぱいに回すと最大レベルになります。

### リアパネル



- ⑪ MIC/LINE IN 3 / 4 [BALANCED] 端子  
XLRバランスタイプのアナログマイク入力と、TRS標準ジャックのバランスアナログ入力端子です。

- XLR (1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)
- TRS (Tip : HOT, Ring : COLD, Sleeve : GND)

- ⑫ LINE OUT 1 / 2 [UNBALANCED] 端子

RCAピンジャックのアナログライン出力端子(アンバランス)です。

この端子からは、USB経由で入力されたパソコンの出力信号、あるいは内蔵モニターミキサーの出力信号などを出力します。

どの出力信号を出力するかは、パソコン上のUS-600のコントロールパネル上で設定します。この端子には、レコーダー、アンプ内蔵スピーカー、外部エフェクターなどを接続します。

#### メモ

- LINE OUT 1 / 2端子からは、本機のアナログ入力信号を出力することができます。
- LINE OUT 1 / 2端子は、ヘッドホン出力と兼用のLEVELつまみで音量を調節できます。

- ⑬ DIGITAL IN [COAXIAL] 端子  
IEC60958-3 (S/PDIF) に準拠したCOAXIALデジタル出力端子です。

#### 注意

本機のデジタル入力を使用するには、接続機器がクロックマスターになる必要があります。詳細については、「音源モジュール / MD / CD など (デジタル接続)」(24ページ) をご覧ください。

- ⑭ MIDI IN端子  
DIN 5ピンの標準MIDI入力端子です。MIDI信号を入力します。

- ⑮ MIDI OUT端子  
DIN 5ピンの標準MIDI出力端子です。MIDI信号を出力します。

- ⑯ PHANTOM (+48V) スイッチ  
マイク入力端子 (1-4) に+48Vのファントム電源を供給するためのスイッチです。

#### 注意

- 本体の電源オン/オフ (ACアダプターの抜き差し) は、このスイッチをOFFにした状態で行ってください。

- このスイッチのONまたはOFFは、LEVELつまみを下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。
- このスイッチをONにした状態でマイクの抜き差しをしないでください。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、このスイッチをONにしてください。
- アンバランスタイプのダイナミックマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。
- リボンマイクロホンの中にはファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。
- XLRにライン機器を接続するときには、ファントム電源を供給しないでください。

### ⑰ ST/MONO INPUT 1-2スイッチ ST/MONO INPUT 3-4スイッチ

2つの入力(MIC/INST IN 1端子とMIC/LINE IN 2端子、MIC/LINE IN 3端子とMIC/LINE IN 4端子)をモニターする際、モノラルにするかステレオにするかを設定します。

MONOの場合、2つの入力はミックスされ、LINE OUT 1 / 2端子へ送られます。

ST場合、MIC/INST IN 1端子の入力またはMIC/LINE IN 3端子の入力はLINE OUT 1端子へ、MIC/INST IN 2端子の入力またはMIC/INST IN 4端子の入力はLINE OUT 2端子へ送られます。

MIC/INST IN 1端子の入力またはMIC/LINE IN 3端子の入力のみを使用している場合に、LINE OUT 1端子およびLINE OUT 2端子でモニターしたい場合は、MONOに設定します。

### ⑱ DIGITAL OUT [COAXIAL] 端子

IEC60958コンシューマユース(S/PDIF)、またはIEC60958プロユース(AES/EBU)に準拠したCOAXIALデジタル出力端子です。

USB経由で入力されたパソコンの出力信号を出力します。

どの出力信号を出力するかは、パソコン上のUS-600のコントロールパネル上で設定します。この端子には、レコーダー、外部エフェクターなどを接続します。

### ⑲ USB端子

付属のUSBケーブルを使って、USB 2.0対応パソコンと接続します。

#### 注意

- USB 1.1 (12MHz) には対応していませんので、USB 1.1ではご使用になれません。
- パソコンのSuspendモード(Sleepモード)には対応しておりません。このため、Suspend(Sleep)解除後に正常に動作しない場合があります。この場合は、USBケーブルを一度抜き、USBケーブルを接続し直してください。

### ⑳ DC IN 5V端子

付属の専用ACアダプター(TASCAM PS-P520)を接続します。

# 第3章 インストール

## 必要なシステム

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) にて、ご確認ください。

### Windows

- **対応OS：**  
Windows XP 32ビット SP3以上  
Windows XP 64ビット SP2以上  
Windows Vista 32ビット SP2以上  
Windows Vista 64ビット SP2以上  
Windows 7 32ビット  
Windows 7 64ビット
- **対応パソコン：**  
USB 2.0ポートを装備したWindows対応パソコン
- **CPU /クロック：**  
Pentium4 1GHz以上  
AMD Athlon 1GHz以上  
(または同等のプロセッサ)
- **メモリー：**  
1GB以上

#### 注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

### Mac OS X

- **対応OS：**  
Mac OS X 10.5.8以上  
Mac OS X 10.6.3以上
- **対応パソコン：**  
USB端子を標準で装備しているApple Macintosh シリーズ
- **CPU /クロック：**  
Intelプロセッサ、またはPPC G4 1GHz以上
- **メモリー：**  
1GB以上

## ドライバーのインストール

本機を使用するには、パソコンにドライバーをインストールする必要があります。以下に述べるように、本機に付属のドライバー CD-ROMを使って簡単にインストールすることができます。ドライバーは、随時更新されています。最新のドライバーは、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。なお、ドライバーをインストールするときは、本機の接続を外してから始めてください。

#### 注意


- 付属のドライバー CD-ROMの取り扱いには、充分ご注意ください。ディスクに傷や汚れがあると正しくデータを読み出せないためにインストールできない場合があります。なお、付属のドライバー CD-ROMが破損した場合は、有償にて交換できます。
- 付属のドライバー CD-ROMを一般のオーディオCDプレーヤーでは、絶対に再生しないでください。ノイズによって、スピーカーを破損したり聴力障害が起きることがあります。

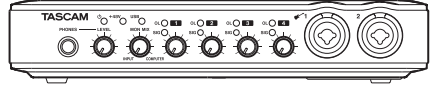
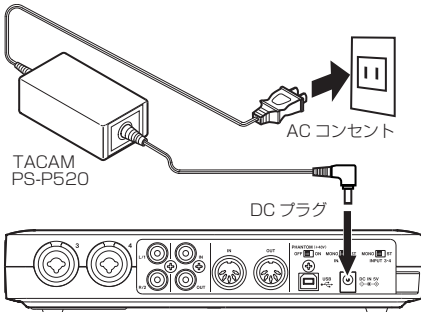
## Windows用ドライバーのインストール

### 注意

- ドライバーのインストール中に、《Windowsロゴテストに合格していません...》という警告が表示されます。この警告は、Windowsのロゴテストを受けていないドライバーをインストールするときに表示されるメッセージです。弊社製品のドライバーは、Windowsのロゴテストを受けていないためにこのメッセージが表示されますが、本ドライバーは弊社で動作確認済みです。このメッセージが表示されたときは、《続行》または《インストールする》をクリックしてインストールを続けてください。
- ドライバーのインストールでは、以下の手順8.においてUSBケーブルの挿入が必要です。このとき、画面が表示されてから約1分以内に指示された作業を完了させてください。時間内に指示された作業が完了しなかった場合は、インストールが失敗することがあります。

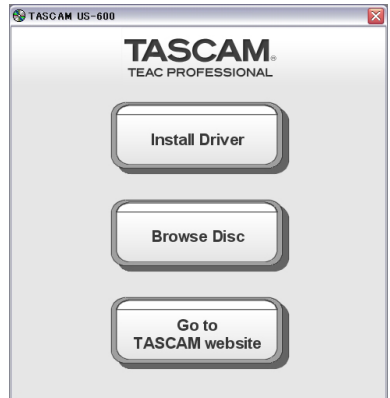
### ドライバーのインストール方法

1. 本機とパソコンがUSBケーブルで接続されていないことを確認します。
2. 付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）をDC IN 5V端子に接続し、フロントパネルの （スタンバイ/オン）インジケータが点灯していることを確認します。



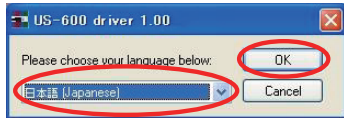
### 注意

- 必ず付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）とACアダプター用電源コードを接続してください。それ以外のもを使用すると故障、火災、感電の原因となります。
  - 本機への電源供給は、専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）からとなります。USB経由での電源供給は行いません。
3. 付属のドライバー CD-ROMをご使用のパソコンにセットします。
  4. メニュー画面が表示されたら、《InstallDriver》ボタンをクリックしてください。メニュー画面が表示されない場合は、付属のドライバー CD-ROM内のファイルを参照して《Autorun》フォルダ内の《Autorun2.exe》ファイルを実行してください。

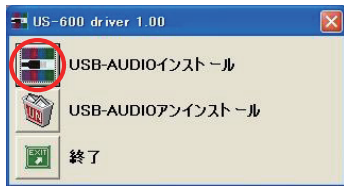


## 第3章 インストール

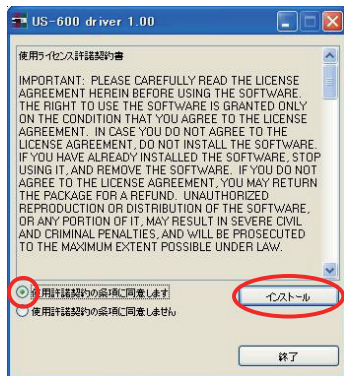
5. しばらくすると言語選択の画面が表示されますので、上下カーソルキーを使用して希望の言語を選択し《OK》ボタンをクリックします。  
(以降は日本語を選択した場合の画面およびボタン名による説明になります。)



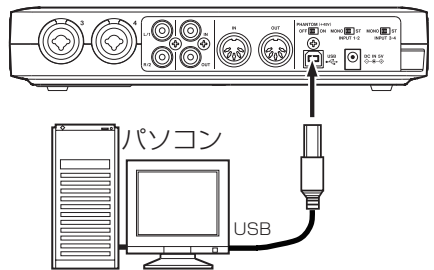
6. 次の画面が表示されたら、《USB-AUDIOインストール》ボタンをクリックします。



7. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、《使用許諾契約の条項に同意します》を選択します。次に《インストール》ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



8. 次の画面が表示されたら、付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続します。



9. ドライバーのインストールが進行していきます。





10. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。

《再起動》ボタンをクリックして、インストーラーを終了し、パソコンを再起動します。




11. パソコンが起動したら、《スタート》→《コントロールパネル》にある《TASCAM US-600》、もしくは《スタート》→《すべてのプログラム》→《TASCAM》→《US-600 Control Panel》をクリックして《US-600》を起動します。

Driver Version、Deviceなどの情報が正しく表示されていれば、インストールは成功です。



## Mac OS X用ドライバーのインストール

1. 本体がパソコンに接続されていないことを確認します。
2. 付属のドライバー CD-ROM内の《TASCAM US600\_Driver\_1.00.dmg》をダブルクリックします。デスクトップ上に《TASCAM\_US600\_1.00.mpkg》ができます。
3. デスクトップ上の《TASCAM\_US600\_1.00.mpkg》をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
4. 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。
5. パソコンを再起動後、本機を接続します。付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）をDC IN 5V端子に接続し、フロントパネルの （スタンバイ/オン）インジケーターが点灯していることを確認します。
6. パソコンと本機を付属のUSBケーブルで接続します。

## 第3章 インストール

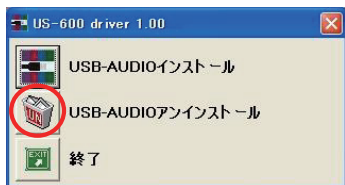
### ドライバーのアンインストール

#### Windows

ドライバーをアンインストールするには、以下の2通りの方法があります。

#### ● 付属のドライバー CD-ROMを使う方法

1. 第3章「Windows用ドライバーのインストール」(15ページ)の4.まで同じです。
2. 5.で《USB-AUDIOアンインストール》ボタンをクリックします。



3. 以降は、スクリーンの指示に従ってください。

#### ● Windows の《プログラムの追加と削除》

1. 《スタート》→《コントロールパネル》で、《プログラムの追加と削除》を実行します。
2. 一覧の中から《US-600 driver》を選択し、《変更と削除》ボタンをクリックします。
3. 以降は、スクリーンの指示に従ってください。

#### Mac OS X

1. 付属のドライバー CD-ROMを挿入し、ドライバー CD-ROM内のファイルを参照して、《TASCAM US-600 remover》をダブルクリックします。



TASCAM US-600 remover

2. 以降は、スクリーンの指示に従ってください。

### インストールについてよくある質問と回答 (FAQ)

#### Windows 用ドライバーのインストール

Q：本機をパソコンに接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザードが表示され、ドライバーのインストールができません。インストール方法が間違っているのでしょうか？

A：《ハードウェアの追加ウィザード》を閉じ、本機の接続を外してください。本機を接続する前に、あらかじめドライバーをインストールする必要があります。製品と同梱された付属のドライバー CD-ROMを挿入すると、ドライバーをインストールするためのメニューが自動的に表示されます。

《Install Driver》を選択して、スクリーンの上の指示に従ってください。TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) からドライバーをダウンロードした場合は、ZIPアーカイブを解凍して《setup.exe》を実行し、スクリーンの指示に従ってください。

Q：付属のドライバー CD-ROMをWindows パソコンに挿入しましたが、ドライバー・インストール・メニューが表示されません。どうすればメニューを始めることができますか？

A：ディスクドライブの自動再生の設定がパソコンで無効にされていた可能性があります。Windows Explorerで同梱されている付属のドライバー CD-ROMを開いて、《Autorun2.exe》というファイルをダブルクリックすることによって、手動でインストールメニューを始めることができます。

---

### パソコンの設定

---

本取扱説明書では、基本的なポイントのみを以下に述べます。

- 他のアプリケーションを立ち上げないようにしましょう。本機を接続しているパソコンをオーディオ以外の用途に使用することもあると思いますが、オーディオアプリケーションを使用しているときには他のアプリケーションを立ち上げないようにしてください。デジタルオーディオの処理はパソコンにかなりの負担をかけます。したがって、他のアプリケーション（特にグラフィックやインターネットツール）を動作することによって処理が追いつかなくなる可能性があります。

---

### Cubase LE 5のインストール

---

詳しくは、付属のCubase LE 5クイックスタートガイドを参照ください。

# 第4章 US-600 コントロールパネルの設定

## 概要

コントロールパネルでは、本機の機能の設定を行うことができます。

Windows においては、《US-600 Control Panel》ショートカットが《スタート》→《コントロールパネル》から、または《スタート》→《すべてのプログラム》→《TASCAM》からアクセスできます。Mac OS X においては、《US-600 Control Panel》はアプリケーションフォルダにあります。その他、Mac OS X でオーディオとMIDIの設定に必要な《Audio MIDI 設定》はアプリケーション/ユーティリティのフォルダにあります。



コントロールパネルは、以下の2つのセクションに分かれています。

### 状態表示セクション

ドライバーの現在の状態と接続ハードウェアを表示しています。

このセクションから設定の変更はできません。

### 設定セクション

ドライバーの各設定を変更します。

## コントロールパネルの設定

### Audio Performance

本機のドライバーは、オーディオ入出力信号を一時的にバッファーに蓄えています。

このバッファーサイズは、調整が可能です。

バッファーサイズが小さいほど、入力信号モニター時のオーディオ信号の遅れが少なくなりますが、パソコンの高速処理が要求されます。他のシステム操作を行った場合などに処理が間に合わないと、オーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなどが発生する場合があります。

バッファーサイズを大きくするほど動作がより安定し、他のシステム操作のオーディオ信号への悪影響に対して強くなりますが、モニター時のオーディオ信号の遅れが大きくなります。本機では、ユーザー環境に合わせてバッファーサイズを設定することができます。

Windows においては、コントロールパネルの《Audio Performance》でバッファーサイズの調整を行います。《lowest latency》ではバッファーサイズが最も小さく、《highest latency》では最も大きくなります。

Mac OS X では、バッファーサイズは使用する各オーディオアプリケーションにて設定します。ですので、Mac OS X バージョンのコントロールパネルには《Audio Performance》がありません。詳しくは、お使いになるオーディオアプリケーションの取扱説明書などをご参照ください。

### Sample Clock

クロックソースを《Automatic》または《Internal》に設定します。

デジタル入力を使用する場合は、《Automatic》に設定してください。

- **Automatic (デフォルト)** : DIGITAL IN端子に信号が入力されているときは、そのクロックを使用します。DIGITAL IN端子に信号が入力されていないときは、本機の内部クロックを使用します。
- **Internal** : 常に本機の内部クロックを使用します。

### Digital Output

デジタル出力のフォーマットを《AES/EBU》または《S/PDIF》に設定します。

### ch1 and ch2、ch3 and ch4 および ch5 and ch6

本機は、USB経由で6チャンネルの信号をパソコンへ出力します。

この設定で、パソコン側の入力に、本機のどの入力端子から入力した信号を割り当てるかを選択します。

《analog inputs 1-2》、《analog inputs 5-6》または《digital input》から選択します。

### LINE OUTPUTS および DIGITAL OUTPUT

パソコンからUSB経由で本機に入力される信号は、4チャンネルあります。

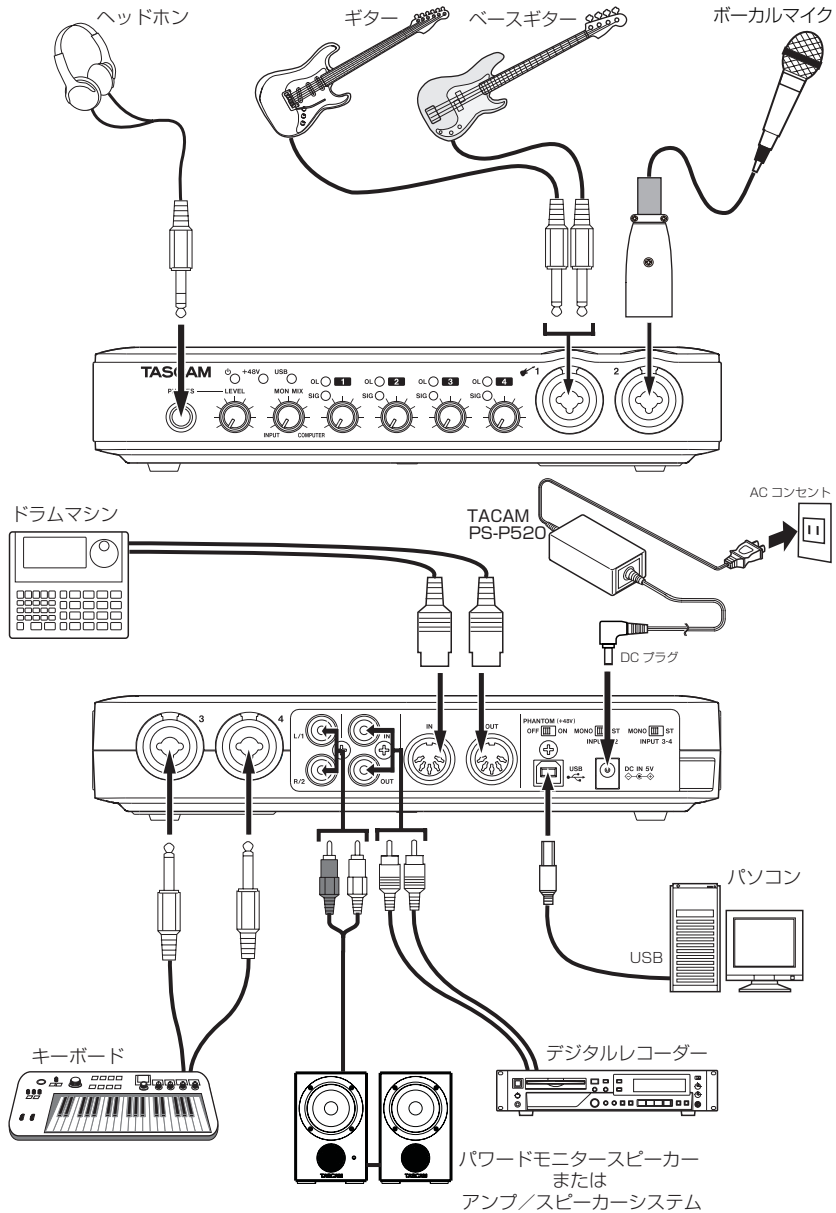
この設定で、本機のLINE OUT端子およびDIGITAL OUT端子から出力する信号を選択します。

《ch1 and ch2》および《ch3 and ch4》から選択します。

#### メモ

Windows Media Playerや、iTunesなどの出力を本機のDIGITAL OUTから出力したい場合は、コントロールパネルの《DIGITAL OUTPUT》の設定を《ch1 and ch2》に設定してください。

# 第5章 接続



[ US-600 を使った接続例 ]

## USBの接続

付属のUSBケーブルを使って、図のように本機とパソコンを接続してください。

### 注意

USB機器の中には、USBバスを頻繁に使用するものがあります。オーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどを避けるために本機が接続されているUSBバス上には、他のUSB機器を接続しないことを強くお勧めします。ただし、USBキーボードとUSBマウスは接続しても問題ありません。

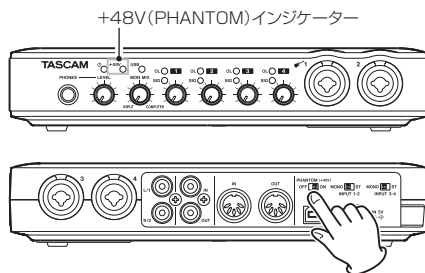
## オーディオの接続

マイク、ギター、キーボード、オーディオ機器などの出力信号を本機に入力し、本機でデジタル信号に変換し、USBを経由してパソコンに送ります。また、スピーカー（アンプ経由）やヘッドホンを本機に接続することにより、本機に入力されるオーディオ信号やパソコンからの出力信号をモニターすることができます。

マイク、ギターなどの入力信号と、パソコンからの出力信号のバランスは、**MON MIX**つまみで調節します。

## マイク

マイクは、フロントパネルの**MIC/INST IN 1**端子および**MIC/LINE IN 2**端子のXLR端子、あるいはリアパネルの**MIC/LINE IN 3 / 4**端子のXLR端子に入力します。ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクをご使用になる場合は、リアパネルの**PHANTOM (+48V)** スイッチを**ON**に設定します。**PHANTOM (+48V)** スイッチが**ON**に設定されているときは、フロントパネルの**+48V**インジケータが点灯します。



### 注意

- **PHANTOM (+48V)** スイッチを**ON**にした状態でダイナミックマイクをアンバランス接続すると機器が故障する恐れがあります。
- **PHANTOM (+48V)** スイッチを**ON**にした状態で、マイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、機器が故障する恐れがあります。
- **PHANTOM (+48V)** スイッチの**ON**または**OFF**は、**LEVEL**つまみを下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。
- 本機の電源をオン/オフ（ACアダプターの抜き差し）する場合は、**PHANTOM (+48V)** スイッチを**OFF**にして行ってください。
- XLRにライン機器を接続するときには、ファントム電源を供給しないでください。機器を損傷する恐れがあります。

### ギター

ギターやベースギターは、フロントパネルの**MIC/INST IN 1**端子のTS標準ジャック端子に接続します。

### 音源モジュール / MD / CDなど (デジタル接続)

これらの機器のデジタル入出力は、リアパネルの**DIGITAL IN / OUT**端子に接続します。

#### メモ

- 本機の**DIGITAL IN / OUT**端子は、RCAピンジャックです。
- 本機のデジタル出力は、S/PDIFまたはAES/EBU信号を出力することができます。出力設定は、コントロールパネルで行います。

#### 注意

デジタル入力を使用するには、コントロールパネルの《**Sample Clock Source**》設定を《**automatic**》に設定する(=接続相手をクロックマスターにする)必要があります。

《**Sample Clock Source**》が《**internal**》の場合は、**DIGITAL IN**端子の信号を入力する事ができず、US-600内部で**DIGITAL OUT**端子の信号がそのままデジタル入力としてループバックされます。この場合、コンピュータ・アプリケーションの設定によっては、**DIGITAL OUT**端子の信号がループ状態となり、ノイズを発生する原因となります。下記に例と対策を記述します。

例)

DAWアプリケーションで、あるトラックの入力にUS-600のデジタル入力、出力にUS-600のデジタル出力がアサインされていたとします。この場合そのトラックが入力モニター状態になっていると、下記のノ

イズループが形成されてしまいます。

トラックの出力→US-600デジタル出力  
→US-600デジタル入力→トラックの入力  
→トラックの出力(始めに戻る)

対策)

このループを回避するには、DAWアプリケーションで入力モニターをオフにするか、そのトラックの入力アサインをUS-600デジタル入力以外に設定します。

### キーボード / ドラムマシン / 音源モジュール / カセットデッキ / MD / CD など (アナログ接続)

これらの機器のアナログ信号出力は、フロントパネルの**MIC/LINE IN 2**端子のTRS標準ジャック端子、あるいはリアパネルの**MIC/LINE IN 3 / 4**端子のTRS標準ジャック端子に接続します。

### アナログレコードプレーヤー

アナログレコードプレーヤーの出力は、直接本機に接続することができません。アナログレコードプレーヤーを本機に接続するには、アナログレコードプレーヤーと本機の間にはフォノアンプが必要です(あるいはフォノ入力端子を持つオーディオアンプを介して接続します)。

### モニタースピーカー

モニタースピーカー(パワードモニタースピーカーまたはアンプ/スピーカーシステム)は、リアパネルの**LINE OUT 1 / 2**端子に接続します。

### ヘッドホン

ヘッドホンは、フロントパネルの**PHONES**端子(ステレオ標準ジャック)に接続します。



---

## MIDIの接続

---

音源モジュール、キーボード／シンセサイザー、ドラムマシンなどのMIDI機器と本機を、以下のように接続します。

音源モジュール、キーボード／シンセサイザー、ドラムマシンの音をモニターしたい場合は、これらの出力を本機のラインイン端子に入力するか、外部ミキサーに入力し、同時に本機のラインアウト端子も外部ミキサーに入力して、外部ミキサーを使ってモニターしてください。

リアパネルのMIDI IN / MIDI OUT端子を使って、MTC（MIDIタイムコード）の送受信を行うことができます。これにより、MTC対応MTR（マルチトラックレコーダー）アプリケーションとMIDI機器を同期することができます。

### 注意

Windows Media Player使用時、コントロールパネル内の《サウンドとオーディオデバイス》からMIDI音楽の再生出力先（既定のデバイス）を《Microsoft GS Wavetable SW Synth》に設定した場合は、本機のLINE OUT 1 / 2、PHONES出力およびDIGITAL出力からの出力からはMIDI演奏を聞くことができません。

# 第6章 アプリケーションガイド

ここでは、いくつかのオーディオアプリケーションと組み合わせて使用する場合の各設定方法を紹介します。

## Cubase LE 5

詳しくは、付属のCubase LE 5クイックスタートガイドをご参照ください。

## Windows XP と Windows Media Player

1. すべてのアプリケーションを終了し、《スタート》より《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンドとオーディオデバイス》を開きます。

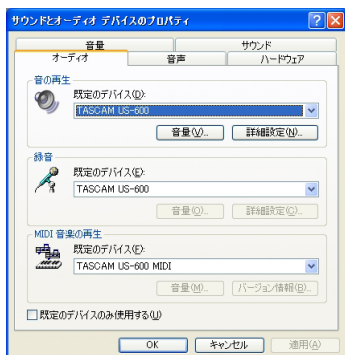
### メモ

上記項目が見あたらない場合は、《サウンド、音声、およびオーディオデバイス》をクリックした後に表示されます。



サウンドとオーディオデバイス

3. 《オーディオ》タブをクリックし、《音の再生》の《既定のデバイス》で、《TASCAM US-600》を選択します。



4. 《OK》をクリックします。

5. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

### メモ

- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合は、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行ったが、音が出ない場合は、パソコンを再起動してください。
- この設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子からは音は出なくなります。

## Windows Vista または Windows 7 と Windows Media Player

1. すべてのアプリケーションを終了し、《スタート》より《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。

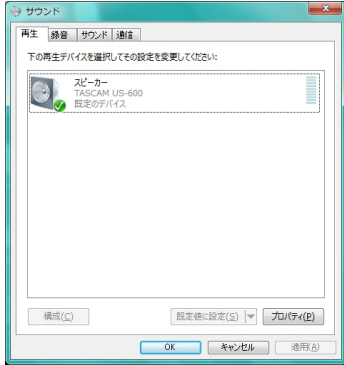
### メモ

上記項目が見あたらない場合は、《ハードウェアとサウンド》をクリックした後に表示されます。



サウンド

3. 《再生》タブをクリックし、《スピーカー TASCAM US-600》をクリックし、《既定のデバイスとして設定》をクリックします。このとき、緑のチェックマークが《スピーカー TASCAM US-600》に移動します。



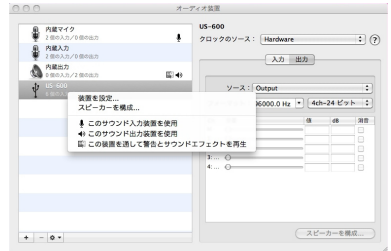
4. **《OK》** をクリックします。
5. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

## メモ

- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行ったが、音が出ない場合は、パソコンを再起動してください。
- この設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子からは音は出なくなります。

## Mac OS X と iTunes

1. 《アプリケーション》フォルダの中の《ユーティリティ》フォルダの中にある《Audio MIDI設定》をダブルクリックして起動します。
2. 《オーディオ装置》を開き、《US-600》が選択された状態で、《US-600》をコントロールキーを押しながらクリックして表示される《このサウンド出力装置を使用》をクリックします。スピーカーのマークがUS-600に移動します。



3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

# 第7章 MIDI インプリメンテーションチャート

## MIDIインプリメンテーションチャート

機能		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	電源オン時	×	×	スルー
	設定可能	×	×	
モード	電源オン時	×	×	スルー
	メッセージ	×	×	
	代用	.....		
ノート・ナンバー	音域	×	×	スルー
ベロシティ	ノート・オン	×	×	スルー
	ノート・オフ	×	×	
アフター・タッチ	キー別	×	×	スルー
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベント		×	×	スルー
コントロール・チェンジ		×	×	スルー
プログラム・チェンジ		×	×	スルー
	設定可能範囲 #	.....		
システム・エクスクルーシブ		×	×	スルー
システム・コモン	ソング・ポジション	×	×	スルー
	ソング・セレクト	×	×	
	チューン	×	×	
システム・リアルタイム	クロック	×	×	スルー
	コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン/オフ	×	×	スルー
	オール・ノート・オフ	×	×	
	アクティブ・センス	×	×	
	リセット	×	×	
備考				

モード1：オムニ・オン、ポリ

モード2：オムニ・オン、モノ

○：YES

モード3：オムニ・オフ、ポリ

モード4：オムニ・オフ、モノ

×：NO

# 第8章 トラブルシューティング

本取扱説明書の手順通り設定しても、本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。

本章で解決できない場合は、タスカムカスタマーサポートまで、下記のご使用環境と、詳しい状況をお知らせいただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

## ご使用環境

- パソコンメーカー；
- モデル；
- CPU；
- 搭載メモリー；
- OS；
- 使用アプリケーション；
- ウイルス対策ソフト；
- 無線LANの有無；

## ● インストールできない。

インストールしたがパソコンに認識されない。



何らかの問題が発生し、インストールに失敗する、またはインストールは完了したがパソコンに認識されない場合は、下記をご確認ください。

### 1) USBインジケータの点灯

本機のフロントパネルにあるUSBインジケータは、点灯しておりますでしょうか。

USBインジケータが点灯していない場合は、正しくUSBケーブルが接続されているかご確認ください。

#### メモ

必ず付属のUSBケーブルをご使用ください。

### 2) USBポートの差し替え

USBポートによっては、本機が正常に動作しないものもございますので、パソコン本体の別のUSBポート（オンボードの）に接続して、再度インストールをお試しください。

#### メモ

- その他のUSB機器は、接続せずにお試しください。（キーボード・マウスは、接続しても構いません。）
- USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の（オンボードの）USBポートに接続してください。

### 3) 常駐ソフトの停止

アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがインストールの妨げとなる場合がございますので、インストール前に終了してください。

ドライバーのアンインストール／インストール方法は、本取扱説明書の14ページ「ドライバーのインストール」をご参照ください。

## 第8章 トラブルシューティング

### ● オーディオを再生しても音が鳴らない。

↓

パソコン側で音声出力の設定が必要です。

本機をパソコンに接続した状態で下記をご確認ください。なお、以下の設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から、音は出なくなります。

#### Windows XP

1. 全てのアプリケーションを終了し、《スタートメニュー》より、《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンドとオーディオデバイス》を開きます。

#### メモ

上記項目が見あたらない場合は、《サウンド、音声、およびオーディオデバイス》をクリックした後に表示されます。

3. 《オーディオ》タブをクリックし、《音の再生》および《録音》の《規定のデバイス》をクリックし、《TASCAM US-600》を選択します。

#### Windows Vista および Windows 7

1. 全てのアプリケーションを終了し、《スタートメニュー》より、《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。

#### メモ

上記項目が見あたらない場合は、《ハードウェアとサウンド》をクリックした後に表示されます。

3. 《再生》タブをクリックし、《スピーカー US-600》を右クリックし、《規定のデバイスとして設定》をクリックします。

#### Mac OS X

1. 全てのアプリケーションを終了し、《アップルメニュー》より《システム環境設定...》画面を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。
3. 《出力》タブから《US-600 output》を選択します。

設定が完了しましたら、パソコンを再起動し、再生音をご確認ください。また、お使いのアプリケーションによっては、上記とは別にデバイス設定を行う必要がある場合がございます。特にDAWは、上記OSの設定とは別のオーディオエンジンで動作していますので、本機のドライバーをインストール後、まずはDAWのドライバー設定をご確認ください。お使いのアプリケーションの詳しい設定方法については、各マニュアルをご参照ください。また、バンドルソフトのCubase LE 5については、付属のCubase LE 5 DVD-ROMに収録されている取扱説明書をご参照ください。

### ● 音切れやノイズが発生する。

↓

パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生します。

パソコンの負荷を軽減させる方法を下記にご紹介いたします。

- 1) 無線LANやアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバックグラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。  
無線LANの通信を停止、アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止してご使用ください。
- 2) お使いのオーディオアプリケーション、あるいは本機のコントロールパネルにてバッファサイズ（レイテンシー）の設定を大きくすることをお試しください。

### メモ

オーディオアプリケーション側でパソコンへの負荷を減らす方法を、オーディオアプリケーションのメーカー様にお問い合わせください。

- 3) パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

#### Windows XP

1. 《マイ コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
2. 《詳細設定》タブをクリックします。
3. 《パフォーマンス》枠の《設定》をクリックします。
4. 《パフォーマンスオプション》画面で、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

#### Windows Vista

- a) 《Aero》（エアロ）を《OFF》に設定  
1. デスクトップを右クリックし、《個人設定》を選択します。

2. 《ウィンドウの色とデザイン》をクリックし、ウィンドウ下の《詳細な色のオプションを設定するにはクラシックスタイルの [デザイン] プロパティを開きます》をクリックします。
3. 《配色》に《Windows Vista ベーシック》など《Windows Aero》以外の項目を選択します。
- b) パフォーマンス設定  
1. 《コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
2. 《システムの詳細設定》をクリックします。
3. 《詳細設定》タブをクリックします。
4. 《パフォーマンス》枠の《設定》をクリックします。
5. 《パフォーマンスオプション》画面の《視覚効果》タブで、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

#### Windows 7

- a) 《Aero》（エアロ）を《OFF》に設定  
1. デスクトップを右クリックし、《個人設定》を選択します。
2. テーマを《ベーシックテーマとハイコントラストテーマ》の中から選択します。
- b) パフォーマンス設定  
1. 《コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
2. 《システムの詳細設定》をクリックします。
3. 《詳細設定》タブをクリックします。
4. 《パフォーマンス》枠の《設定》をクリックします。
5. 《パフォーマンスオプション》画面の《視覚効果》タブで、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

## 第8章 トラブルシューティング

### Mac OS X

1. 《アップルメニュー》より《システム環境設定...》画面を開き、《省エネルギー》を選択します。
2. 《スリープ》タブをクリックします。
3. 《コンピュータがスリープするまでの静止している時間》を《しない》に設定します。
4. 《ディスプレイがスリープするまでのコンピュータが静止している時間》を《しない》に設定します。
5. 《オプション》タブをクリックします。《プロセッサのパフォーマンス》を《最高》に設定します。

### メモ

Mac OS Xのバージョン、またはMacintoshコンピュータによっては、この設定がない場合があります。

### ● Cubase LE 5のお問い合わせについて

↓

Cubase LE 5につきましては、Steinberg社より供給された製品のため、弊社ではサポート対象外となります。

ご使用方法につきましては、Cubase LE 5のヘルプメニューをご参照いただきますようお願いいたします。



---

## 定格

---

### サンプリング周波数

44.1/48/88.2/96kHz

### 量子化ビット数

24ビット

---

## アナログオーディオ入出力定格

---

### アナログオーディオ入力定格

#### マイク入力 (MIC IN 1-4)

##### バランス

コネクター：XLR-3-31

(1：GND、2：HOT、3：COLD)

入カインピーダンス：2.2k $\Omega$

規定入力レベル：-14dBu (0.15Vrms)

最小入力レベル：-57dBu (0.001Vrms)

最大入力レベル：+2dBu (0.98Vrms)

#### ライン入力 (LINE IN 2-4)

##### バランス

コネクター：6.3mm (1/4") TRS標準ジャック  
(Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND)

入カインピーダンス：15k $\Omega$

規定入力レベル：+4dBu (1.23Vrms)

最小入力レベル：-39dBu (0.008Vrms)

最大入力レベル：+20dBu (7.75Vrms)

#### インストールメント入力 (INST IN 1)

##### アンバランス

コネクター：6.3mm (1/4") TS標準ジャック  
(Tip：HOT、Sleeve：GND)

入カインピーダンス：1M $\Omega$

規定入力レベル：-13dBV (0.22Vrms)

最小入力レベル：-56dBV (0.001Vrms)

最大入力レベル：+3dBV (1.41Vrms)

### アナログオーディオ出力定格

#### ライン出力 (LINE OUT 1-2)

##### アンバランス

コネクター：RCAピンジャック

出カインピーダンス：200 $\Omega$

規定出力レベル：-10dBV (0.316Vrms)

最大出力レベル：+6dBV (2Vrms)

#### ヘッドホン出力 (PHONES)

コネクター：

6.3mm (1/4") ステレオ標準ジャック

最大出力：49mW + 49mW (1kHz, 0.1%, 32 $\Omega$ )

---

## デジタルオーディオ入出力定格

---

### デジタルオーディオ入力定格

#### COAXIAL (DIGITAL IN)

コネクター：RCAピンジャック

フォーマット：IEC 60958-3 (S/PDIF)

---

### デジタルオーディオ出力定格

#### COAXIAL (DIGITAL OUT)

コネクター：RCAピンジャック

フォーマット：IEC 60958-3 (S/PDIF)

または、IEC60958プロユース (AES/EBU)、コントロールパネルで切り換え

---

## コントロール入出力定格

---

### MIDI入力 (MIDI IN)

コネクター：DIN 5ピン

フォーマット：標準MIDIフォーマット

### MIDI出力 (MIDI OUT)

コネクター：DIN 5ピン

フォーマット：標準MIDIフォーマット

### USB (USB)

コネクター：USB Bタイプ 4ピン

フォーマット：USB 2.0 HIGH SPEED (480MHz)

---

### オーディオ特性

---

#### 周波数特性

20Hz-20kHz +0.5/-1.0dB  
(44.1/48kHz、JEITA)

20Hz-40kHz +0.5/-1.5dB  
(88.2/96kHz、JEITA)

#### S/N比

98dB以上  
(LINE IN-LINE OUT、ゲインつまみ min時、  
44.1kHz時、JEITA)

#### 総合ひずみ率

0.0045%以下  
(LINE IN-LINE OUT、ゲインつまみ min時、JEITA)

---

### 動作条件

---

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) ご確認ください。

---

#### Windows

##### 対応OS

Windows XP 32ビット SP3以上  
Windows XP 64ビット SP2以上  
Windows Vista 32ビット SP2以上  
Windows Vista 64ビット SP2以上  
Windows 7 32ビット  
Windows 7 64ビット

##### 対応パソコン

USB 2.0ポートを装備したWindows対応パソコン

##### CPU / クロック

Pentium4 1GHz以上  
AMD Athlon 1GHz以上  
(または同等のプロセッサ)

##### メモリー

1GB以上

##### 対応プロトコル

ASIO 2、WDM (MME)

---

#### Mac OS X

##### 対応OS

Mac OS X 10.5.8以上  
Mac OS X 10.6.3以上

##### 対応パソコン

USB端子を標準で装備している  
Apple Macintoshシリーズ

##### CPU / クロック

Intelプロセッサ、またはPPC G4 1GHz以上

##### メモリー

1GB以上

##### 対応プロトコル

CoreAudio、CoreMIDI

---

### 一般

---

#### 電源

専用ACアダプター(TASCAM PS-P520、付属)  
AC入力: 100-240V、1.0A  
DC出力: +5V、2.0A

#### 消費電力

5W

#### 外形寸法

221.5 x 41 x 151mm  
(幅 x 高さ x 奥行き、突起含まず)  
221.5 x 44 x 164.3mm  
(幅 x 高さ x 奥行き、最大寸法)

#### 質量

580g

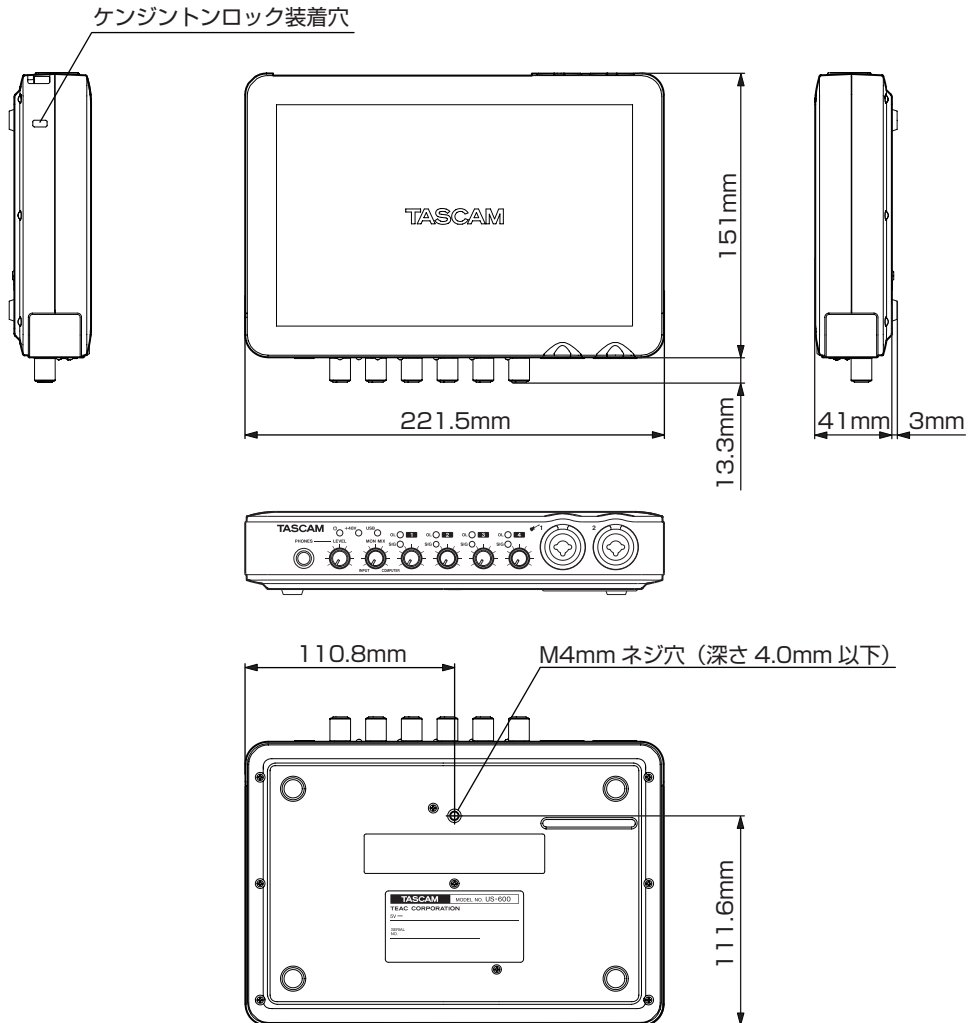
#### 動作温度

5 ~ 35℃

#### バンドルソフトウェア

Cubase LE 5 (Windows、Mac OS X用)

寸法図



- \* 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- \* 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

## この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00~12:00 / 13:00~17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



® 0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

## 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

® 0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。

このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

<http://tascam.jp/>

Printed in China